

第1回 大和高田市シビックコア周辺地区まちづくり意見交換会 議事要旨

日 時：2017年10月25日（金）13:30～14:45

場 所：市役4階合同委員会室

出席者：別紙のとおり

1. 開会

- ・開会あいさつ（事務局）
- ・配布資料確認
- ・会議成立の報告
- ・会長あいさつ

2. 委員・アドバイザー紹介

3. 議事

議事1. 奈良県と市とのまちづくりに関する基本協定の締結について

事務局より、次の資料について説明を行った。

- ・資料1：奈良県と市とのまちづくりに関する基本協定書

【質疑応答事項】

<会長>

配布資料1の基本協定書には「案」の文字が入っているが、すでに正式に県知事と市が協定を結んでいるので「案」は不要ではないでしょうか。

<事務局>

事前配布の段階では「案」であったが、その後協定を締結したので、あらためて本日県知事印、市長印を押印した協定書のコピーを配布しています。

議事2. 市役所庁舎の移転計画について

事務局より、次の資料について説明を行った。

- ・資料2：市役所庁舎の移転計画の概要

【質疑応答事項】

<副会長>

9月27日の議会で3分の2以上の賛成で、市役所庁舎の位置が決定したことは喜ばしいことです。資料によると、新庁舎の規模は9,800㎡から10,800㎡となっていますが、市議会にもこれを説明しているのでしょうか。

<事務局>

議会において新庁舎建設特別委員会を設置し、構想策定の進捗状況などの報告を逐一行っており、規模についても説明し、理解を得ていると思います。

<副会長>

その中で、建設事業費についても説明しているのでしょうか。

<事務局>

資料 2 の基本構想の概要版では事業費について触れていませんが、事業費についても検討しています。今回資料 4 ページの候補地比較表のところに事業費という評価項目がありますが、検討協議の資料本編では、ここに各候補地の事業費を記述しています。例えば、候補地 2 は 57.2 億円と具体的な数字を明記しています。これは、他の候補地と比べて安く、3 つの候補地の中ではもっとも経済的であると評価しています。

<副会長>

新庁舎の位置については了解を得ましたが、そこに建てるものについては、ある程度のボリュームについては説明しているという理解で良いのでしょうか。

<事務局>

その通りです。

<会長>

簡単な平面図等については提示しています。

<本村委員>

資料 2 の 3 ページ「新庁舎の規模設定 付加機能面積 1,000 m²」の中で、災害対策・市民利便機能とあります。市役所以外の機能で、市民にとって何かに使える機能というものがあるのでしょうか。

<事務局>

例えば、市民がサークル的な活動や、市民交流の考え方から、役所の閉庁する土日でも市民に開放して使ってもらえるような市民活動スペースなどがあつた方がよいという市民アンケートなどからの意見もあります。市民のためのそのような空間があつたらいいと考え、市民利便機能の導入を考えています。

<会長>

災害対策機能についてはどうなっていますか。

<事務局>

災害対策機能に関しては、すぐに災害対策本部が開けるような機能や、Jアラートシステムなどの関連も踏まえて、災害対策本部のあり方を研究して設計につなげていきたいと考えています。

議事3. 基本計画案の概要について

事務局より、次の資料について説明を行った。

- ・資料3：基本計画案の概要

【質疑応答事項】

<会長>

資料3の計画案の概要は、資料1別紙2の「まちづくり基本構想」10ページ・11ページに位置づけている「まちづくりの基本方針・基本となる取組み」を受けたものとなります。それを一覧表にしてまとめたものですが、何か意見はないでしょうか。

<副会長>

資料3の計画案の概要において、基本構想で定めた内容は表内左側の「施策展開の方針・事業の位置」の箇所までで、その右側の事業施策案と事業施策概要案については、今後基本計画として検討していくということでしょうか。

<事務局>

その通りで、事務局が提案して、各担当課でつめていく予定です。

<副会長>

短期的、中期的、長期的の3つの段階に分けて実施時期を示していくという説明がありましたが、何をいつまでに行うかを示す必要があると思います。新庁舎の建設事業は大きな事業費を要するものであることから、市の財政状況も踏まえて各事業のスケジュールを検討されるのでしょうか。新庁舎の建設事業は、国の支援の関係から短期的な事業となるということですが、この事業の他に短期的に実施する予定の事業はありますか。

<事務局>

市の担当課の意見もあると思いますが、短期的な事業として考えているのは「シンボルロードの景観形成と移動快適性の確保」と「高田千本桜の遊歩道の整備」であり、早急に整備していきたいと考えています。担当課や財政との調整を今後行っていきます。

<副会長>

シンボルロードと千本桜は有名であるのは、多くの方が訪れるからだと思います。事業施策案の中の「賑わいイベント社会実験」についてですが、まちの駅はどうあるべきか、その整備方針は、ということを検討すると思います。これは、まちの駅の場所で実施するというイメージでしょうか。

<事務局>

まちの駅の整備候補地において社会実験を実施して、その効果がどうなのかを探ってみたいと考えています。

<副会長>

まちの駅の場所の整備も行っていますが、その内容についても社会実験を通して考えていくということでしょうか。

<会長>

まちの駅の場所はどこにすべきか、というのも検討していくのではないのでしょうか。

<松田委員>

まちの駅の候補地はあるのですか。

<会長>

おそらく、基本構想図にある高田川東側の「にぎわい・交流拠点」のエリア内だと思います。

<本村委員>

たくさんのお仕事を列挙していますが、事業の実施時期を考えていくことが重要です。事業の前後関係や一緒に実施することで効果が高くなるなど、単独の事業として見るのではなく、相互の関係など横目で見ながら考えていく必要があります。

実施主体をどうするかという問題もあります。市が実施する事業が多いと思いますが、民間を巻き込んで行う事業も必要だと思います。まちの駅の事業では「民間主体となる」といった文言もあるようで、いかに民間と関係を築いていくかなどのすすめ方を詰めていければいいと思います。

ソフト系の取り組みはいくつかあるようで、賑わいイベント社会実験など賑わいづくりのイベントは重要だと思います。また、大中公園の能舞台はあまり使われていないということも以前の会議で説明されていました。そのような課題をどのように改善するかといった施策など、ソフト事業としての取り組みもあって良いと思います。

<会長>

能舞台の活用促進は大切です。公園のキャパを考えた場合、公園施設をどのように構築していくかについては、十分な検討が必要でしょう。

<三井田教授>

スケジュールが大事です。役所が施設整備すると非常に大きな費用をかけてしまいます。少し変えるだけで、良くなるものがあるのではないのでしょうか。例えば、自転車道をつくるとしても、数億円をかけて新たに道路を整備する、舗装を変えるとなります。そうではなく、ちょっとした休憩所や、トイレをつくるというように、簡単にできることを積み上げていくということが大切です。そういうものをこの計画に盛り込まれていると実施しやすいでしょう。そのような視点で考え、小さな休憩所の整備では木造で10年間もてばいいというものもあると思います。

この地区は3つの鉄道駅から歩いて行ける至近距離にあります。それらをつなげるような施設などを整備することも重要でしょう。

<会長>

今のご意見のソフト的な視点、フレキシブルな発想を大切にしたいと思います。

<副会長>

この地区には、国の機関の施設が多数あり、寿命が近いものも多いですが、すぐに建て替えということにはならないと思います。市で計画されている中央公民館、保健センター等について、先をにらんで再配置や集約化を検討されるというなかで、国の施設の状況も踏まえて、場合によっては国の機関を別の場所に移っていただくという考えもあり、これによって国の施設も集約できるといったことも考えられます。合理的な施設の改修にもつながると思います。これは短期的に結論を出せるものではないと思いますが、まちづくりの基本計画としてはこれらの検討を含めた項目があつてよいかと思います。

<竹邑委員>

弊行の位置しているところがにぎわい交流拠点に位置付けられ、まちの駅の用地を確保するとあります。場合によっては我々のところに関係することになると思います。我々の建物も老朽化しているので、建替えについて今後検討することになります。私どもも、このまちづくり構想に協力していきたいと考えていますので、計画のスケジュール感について、どこかの段階かでお示しいただきたいと思います。

<会長>

先ほども意見で出たように、スケジュールの話は重要です。個別的な協議も必要で、計画

の枠組を検討すべきと思います。

議事4. 基本計画案作成のための市民アンケート調査の実施について

事務局より、次の資料について説明を行った。

- ・資料4：市民アンケート調査の実施計画概要

【質疑応答事項】

<会長>

アンケート調査票と一緒に「まちづくり基本構想」12ページの構想図を同封するということでしょうか。

<事務局>

その通りです。

<会長>

そもそも、シビックコア周辺地区とは何でしょうか。なんのアンケートなのでしょう。何でこんなまちづくり基本構想図があるのだというようなことを的確に説明する必要があります。工夫をして説明する必要があります。

<事務局>

配布していませんが、アンケート調査協力の依頼文と一緒に送ることとしています。

<松田委員>

一般市民では、シビックコアの内容がこれだけでは分かりにくいです。構想図を見てもわからず、問い合わせするところもわかりません。

<会長>

そのあたりをしっかりとわかりやすくする工夫が必要です。

市役所は、新庁舎として旧高田総合庁舎跡に移転することになっているとのアナウンスが必要なのか、そこもよく検討しなくてはなりません。十分かつ慎重に検討してほしいです。

<三井田教授>

4ページの優先順位付けで、市役所等の移設に関する回答が少なかった場合どうするのでしょうか。どういうとりまとめ方をするのですか。

<会長>

新庁舎の位置が決まって、まちづくり構想案からまちづくり構想になったわけですので、

そこを十分認識して進めてほしいと思います。

<副会長>

新庁舎の位置が決まっており、スケジュールが決まっていることが前提でのアンケートなので、それを踏まえたアンケートとして検討してほしいです。

議事5. 基本計画案作成のための市民ワークショップの開催について

事務局より、次の資料について説明を行った。

- ・資料5：市民ワークショップの実施計画概要

【質疑応答事項】

<岡谷委員>

参加者数は21名だと説明がありましたが、前年度のワークショップ参加者も今回参加するのでしょうか。

<事務局>

昨年度の参加者にも案内の連絡は行っています。引き続き参加していただく方は、参加者全体の約半数です。

<会長>

その半数を含めて参加者は21名ですか。

<事務局>

その通りです。

<副会長>

資料5の1ページの前提条件に「新庁舎建設計画との整合を図る」ことを前提としているので、新庁舎はあの場所にあの時期に移るということで実施するワークショップという理解でよろしいでしょうか。

<事務局>

その通りです。

<副会長>

参加対象者を中学生以上としています。参加者の年齢構成はどのようなのでしょうか。

<事務局>

年配の方が多く、中学生、高校生はいません。子育て世代の方が1名います。

<三井田教授>

まだ言葉だけの表現なので、市民がイメージできるような具体的なものがあればと思います。新庁舎は、品格のあるものをつくってほしいです。施設の役割を終えたらそれを壊そうとします。今度の庁舎は文化財となるようなものにしてほしいです。決してお金をかけるという意味ではありません。今後のまちづくりについても、役割が終えたからといって消し去るのではなく、役割をつけて、何かを足していくことで今後伝えていけるようなものにしてほしいと思います。

<会長>

これで本日の意見交換会を終了します。

以上